

2025 沖縄平和研修開催！

Part2

宮森小学校・うるま市石川自衛隊訓練場新設予定地踏査

石川・宮森630(ロクサンマル)会の伊波洋正氏から、米軍ジェット機墜落事件について、飛行機が激突した宮森小学校にて教えていただきました。18名(後の後遺症1名含む)の命が失われ、200名あまりの重軽傷者を出しました。この墜落に関して、原因は「整備不良」であったのにも関わらず、米軍は「不可抗力」と説明し、事実が隠されていたことも知ることができました。戦後も沖縄の住民は米軍による被害を受けている現実や真実が隠されていることを学ぶことができました。



自衛隊訓練場新設が予定されていた、ゴルフ場跡地の現地踏査を行いました。地区の住民から始まった反対運動により、訓練場新設の計画を断念・撤回してきた闘いを学ぶことができました。現地に立つと、想像以上の住宅密集地であり、多くの子供が訪れる青少年の家も目と鼻の先にありました。当時、住民に対して一切の説明もなく突如として計画が発表され、住民の生活や命が危険に晒されようとしていました。国は自衛隊訓練場を新設しようとする姿勢であり、住民の暮らし・命を全く考えられていないことを一致しました。

辺野古新基地建設現場踏査・抗議行動

大浦湾にて新基地建設現場を踏査しました。前例のない水深、軟弱地盤での工事が続けられています。昨年よりも杭を打ち込む為の船が増えていました。6年かけて18%の埋め立ての進捗率であり、いつ完成するのかかわからない基地建設に多額の税金が投入され、自然環境を破壊しながら工事が続けられています。基地建設をする必要はないし、工事の進め方もいい加減でおかしいことを参加者で確認しました。その後座り込みでの抗議行動を行ってきました。民意や住民の思いを無視し、強硬的に工事を進める姿勢を肌で感じる事ができました。



基地建設が進められ戦争の出来る環境がつくられている！

報道されない真実を学び、平和な社会をつくるために行動しよう！

